



仏心を育む教育の可能性と姿勢の見方

(清水町一区町内 善導寺住職)

北部地域住民自治協議会
会長 渡邊 清明

教育とは、その文字通り正しく教え、正しく育てることにあると思います。そして教育とは正しく学び、正しく習う姿勢を深く広い心で促していく、そして培っていくことであります。

教育の実践は、正しい教育と正しい学習を目指して誠実に継続して誠意をもってしっかりと努力していく必要があると思います。その正しい堅実な教育の営みを、更に温かい教育、豊かな教育へと大きく広げていくためには、心の教育を加えていく必要が求められます。そこで姿勢の見方についてちょっと触れたいと思います。

姿勢の見方には4つの見方があるとされております。一つに『遅れる者たちを待つ姿勢』二つに『自らの位置を省みる姿勢』三つに『愛や情けをかける姿勢』四つに『思いやり深く周囲を見つめる姿勢』。これは、衆生（人間）と共に正しく前へ進むためのリーダーが把握する振り向きの姿勢であります。日常生活においても正しい姿勢を保ちたいものです。

さて、正しい教育理論のもとに、温かく豊かな教育実践を具体化するために、宗教情操教育は一つの大きな意義をもっています。仏教情操教育は仏心を育て育む教育であり、心を育てる教育、心を育む教育に仏心を覆いかぶせて、仏心で包み込んで、豊かなやさしい学びの『姿勢』へと繋げていくのであると思います。仏心を育て育む教育には、心を見つめ心を見守り心に想いをいたす教育への確かな手がかりがあり、単なる手法・手段ではなく目指すべき目標・目的ともなるのであります。又、読む・書くことの意義が指摘される以上に、話す、聞くことの重要性が叫ばれている昨今であります。近年、パソコンや携帯・スマホ等で見る、打つよりも、人と人が実際に対面して話し掛け、話し合い、聞き合って、聞き分けることの大切さを強調しなければならないところでもあります。言い合い、話し合い、告げ合いが大切で、そして問い掛け、尋ね掛け、教え合う事も大事であります。特に悪いのは、言い争いやののしり合い、悪い言葉や下品な台詞を吐いたり聞き外したりしてはいけないことでもあります。これらは心の問題で、悪い姿勢の下で発声しているものと思われまます。言葉による教え合い、学び合い、話し合い、そして言葉による心の交流が教育の重要な眼目であり、教育の中の大切な営みであるところでもあります。

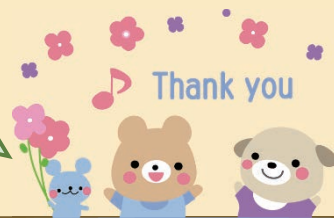
令和7年度施設利用状況(令和7年4月1日～令和8年2月28日)

利用者総数: 113,389名

<内訳>

地域文化ホール : 37,184名 部屋利用 : 33,207名
展示ホール : 14,568名 体育館利用 : 28,430名

1日平均346名の
皆様にご利用
いただきました!



JA秋田厚生連 秋田厚生医療センター共催事業
第4回 キタスカ地域住民講座



元気に過ごすためのヒント！
「がんについて」
「健康寿命を10年延ばす5つのヒント」

日時：令和7年12月13日(土)13時半～15時

JA秋田厚生連 秋田厚生医療センターとの共催事業「第4回キタスカ地域住民講座」では、秋田厚生医療センター院長の柴田 聡先生、総合内科診療部長の奥山 慎先生を講師にお迎えし、ご講演いただきました。

柴田先生からは「がんについて」と題し、がん検診の重要性や早期発見の大切さについて分かりやすくお話いただきました。また、奥山先生からは「健康寿命を10年延ばす5つのヒント」として、①血管を守ろう ②筋肉を減らさない ③眠りとストレスを整えよう ④人とのつながりを大切に ⑤やる気の源をもとめる5つのポイントをご紹介いただきました。普段なかなか聞くことのできない貴重なお話しに、会場の皆様は熱心にメモを取りながら耳を傾けていました。「長生きのヒントをたくさんいただきました」「改めて検診の大切さを学びました」などの声が寄せられ、多くの学びがある講演となりました。



キタスカ講演会

「アルツハイマー型認知症の最新情報 ～特にその予防について～」

講師：小柳 清光 氏（介護老人保健施設千秋苑 施設長）

日時：令和8年2月28日(土)13時半～15時



今回の講演は「アルツハイマー型認知症の最新情報～特にその予防について～」をテーマに、専門的な知見を交えながら分かりやすい講演が行われました。

脳のしくみについて詳しい説明があり、アルツハイマー型認知症とはどういうものか、また認知症がどのように進行するのかについて理解を深めることができました。適度な運動やバランスの採れた食事、人との交流などの日常生活の積み重ねが、脳の健康維持に重要であることが紹介されました。また、講演の最後には「のど活」として、参加者全員で昔話の音読と、枚岡（ひらおか）神社の笑いの神事を行いました。大きな声を出して読むことで会場に一体感が生まれ、最後は全員で「アーッハッハー」と3度高笑いをし、楽しみながら脳を活性化させる講演となりました。「とても参考になった」「もっとお話しを聞きたかった」という声がたくさん寄せられ、今回の講演会は、認知症をより身近な問題として考え、日頃の生活を見直すきっかけとなる有意義な時間となりました。

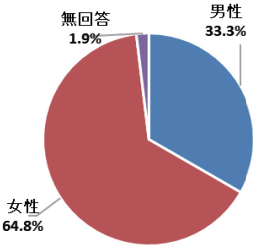


利用者アンケートの結果

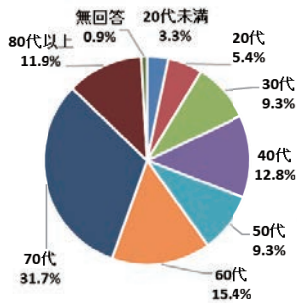
令和8年2月実施 協力者 429名

問1. ご自身について

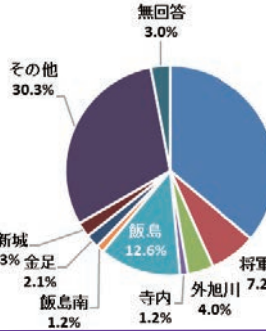
(1) 性別



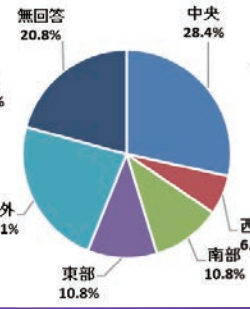
(2) 年代



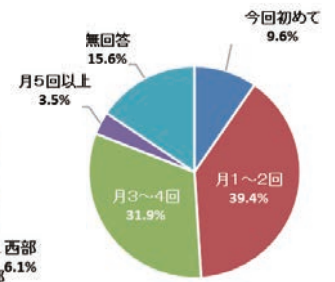
(3) 住居



※住居(その他の回答)

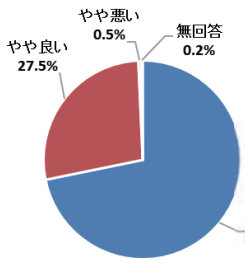


(4) 使用頻度

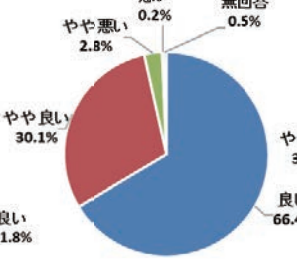


問2. キタスカの利用について

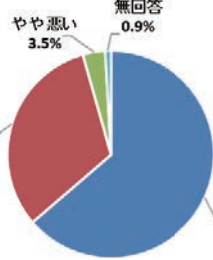
(1) 全体的な印象 (雰囲気)



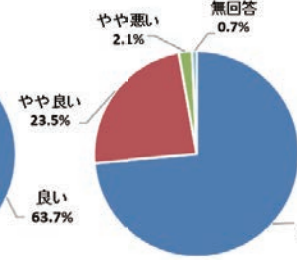
(2) 職員のあいさつ、身だしなみ、対応



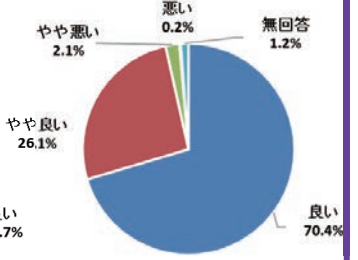
(3) 施設利用に関する説明の仕方



(4) 施設の使い勝手



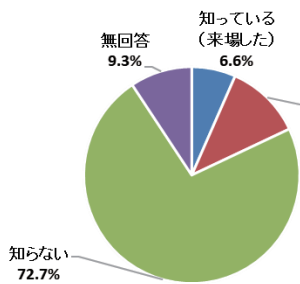
(5) 備品の使いやすさ



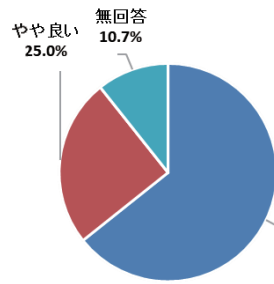
問3. 北部地域住民自治協議会の自主事業について

(1) 自主事業についてお聞かせください。 ■キタスカ地域住民講座『元気に過ごすためのヒント！』

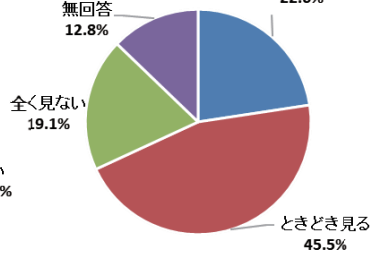
(A) 上記に記載しました事業はご存じでしたか？



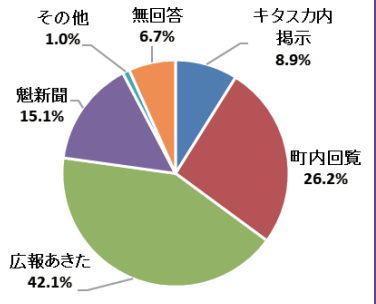
(B) 来場した方は、その内容はいかがでしたか？



(2) 自主事業のPR(町内会の回覧、広報あきた、魁新聞等)は見られていますか？

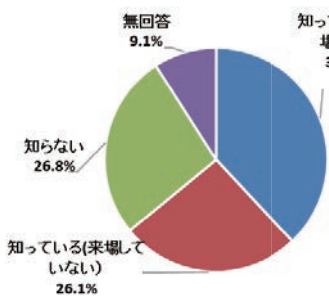


(2)-A 見ている方は主に何をご覧になっていますか？(複数回答)

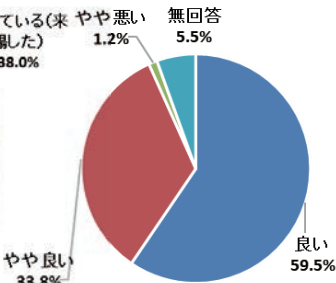


問4. キタスカまつりについて

(1) キタスカまつりの実施をご存じでしたか？



(A) 来場した方は、その内容はいかがでしたか？



(B) 良い・やや良いと答えた方に良かったと思うイベントをお聞かせください。

○作品展示	19.5%	○芸能発表会	18.6%
○北部地域特産物直売	11.2%	○三浦博美と仲間たち	1.1%
○喫茶コーナー	9.0%	○大黒舞歌謡ショー	1.9%
○生涯学習相談	0.3%	○軽食コーナー	8.8%
○健康相談	2.2%	○キッチンカー	2.2%
○フリーマーケット	6.6%	○フレイル予防運動	1.9%
○販売コーナー	9.0%	○はじめてのスマートフォン教室	0.8%
○子供縁日	1.6%	○ダンスパーティー	3.6%

(C) 今後どのようなイベントをお望みかお聞かせください。

- ・ バンド演奏
- ・ 音楽・アートセ
- ・ シール交換等のこどものイベント
- ・ 大抽選会
- ・ 防犯やセキュリティなど犯罪についての講演会
- ・ 各サークルと来場者のふれあい及び展示物の説明
- ・ 民謡ショー

~その他のご意見・ご要望~

- ・ 足ふきマットを用意してはいかがでしょうか。
- ・ 和室の掃除機の調子がよくない時がある。
- ・ イスが足りない。
- ・ いつもキレイで気持ちよく使用させていただいております。
- ・ キタスカまつりがあることによって、練習にも力が入り、仲間とのつながりも強くなり、教室の和が保たれているような気がします。

ご協力いただきました皆様、貴重なご意見ありがとうございました。
今後の運営の参考にさせていただきます。
今後ともキタスカをよろしくお願いいたします。



地域を
元気にする!

～北部地区～ コミセン情報



第2回 外旭川地区コミュニティセンター

外旭川地区コミュニティセンター管理運営委員会
スタッフ兼・会計 高橋 久美子



当コミセンは昭和59年7月1日に開館し、地域の皆様に支えられ、お陰様で昨年度40周年を迎える事ができました。

令和6年11月30日には開館40周年記念式典・祝賀会を開催し、約70名の皆様にご臨席を賜り、記念式典・祝賀会を滞りなく盛会のうちに終えることができました。心より感謝申し上げます。

年間行事としては毎年コミセンまつりを行っております。今年度は10月11日(土)に開催し、300人近くの皆様に来館いただきました。

大抽選会をはじめ、歌やダンスなどの芸能発表、洋服や小物、書道や詩、絵日記などの作品展示、外旭川中学校吹奏楽部による演奏。また、サークル外旭川長生会による食堂のカレーライスなど、いずれも毎年大変ご好評いただいております。

今年度は体験コーナーとして外旭川消防署の皆様にご協力いただいた「消防体験」やサークル吹矢こまちの皆様にご協力いただいた「吹矢体験」、地域の関谷さんにご協力いただいた「筆ペンで書く自分の名前」も大変ご好評いただき、子供達もたくさん来場してくれました。

消防体験の煙体験は「変なおいがした」「前が全然見えなかった」と大人も子供も大変良い経験になったのではと思います。子供達の楽しそうな賑やかな声がコミセンまつりをより一層盛り上げてくれました。

当コミセンの登録サークルは体育系サークル28サークル、文化系サークル6サークル、合計34サークルあります。内容はバドミントンやミニテニス、ダンスや体操、囲碁や洋裁など様々で、毎日サークルの皆様が楽しそうな明るい表情で来館されています。

体を動かした皆様は真冬でも汗をかき、スッキリとした笑顔で帰られ、文化系サークルの皆様は「今日は誰と対戦しようか」「何を作ろうか、それ前回作った服?素敵ね」とこちらも楽しそうな会話が聞こえてきます。

地域住民の皆様やサークルの皆様をはじめ、地域団体、市内各地域、企業などたくさんの方に利用していただき、昨年度は2万6000人を超える利用がありました。

外旭川コミセンをご利用の皆様、これからも快適に相互の交流の場を提供できるように努めてまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

